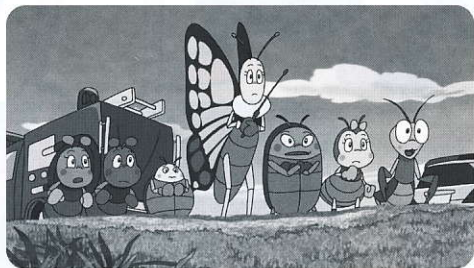
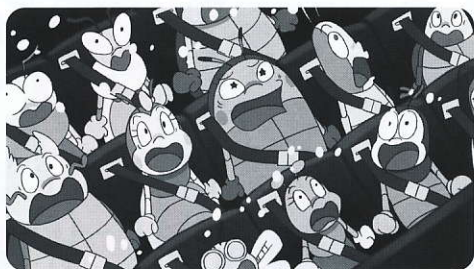
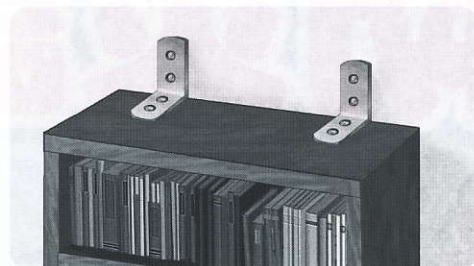
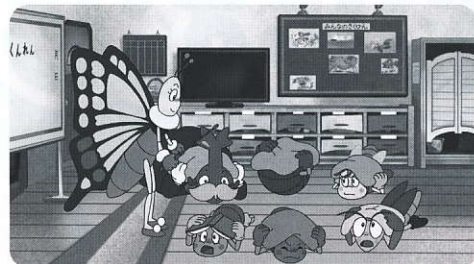


内容

アブのアビーやダンゴムシのダンゴローが通う、むしむし学園の防災訓練の日。カブトムシのツノダ消防署長が大切なお話をし、アゲハ先生が羽を大きく羽ばたかせます。「地震が来たらどうなるか、みんなに体験してもらいますよ!」すると、緊急地震速報が鳴り響いて強い揺れがやってきます。「さあ、地震が来たらどうするの?」

「そうだ、机の下にもぐるんだ!」とアビー。でも机は教室の端に片づけてあります。「頭を守って身体を小さく丸めるのよ!」というアゲハ先生の声に、ダンゴローはクルンと丸くなります。揺れがきたら、とにかく自分の身を守るんだと、みんなは学びます。

続いて校庭への避難です。アゲハ先生は「おかしも」の約束を、生徒達に思い出させます。押さない・駆けない・喋らない・戻らない。約束を守りながら、全員無事に校庭まで避難することができました。アゲハ先生が教鞭を振ると、揺れは収まり、割れたガラスや倒れた本棚もすっかり元通りに。ツノダ署長は「こんなことにならないように色々な工夫があるんだよ」と家具の転倒防止の工夫も教えてくれました。



翌日、みんなは海辺の遊園地に遠足にやってきました。アトラクションに入ったアビーとダンゴローですが、「ただいま地震が起きています」と場内アナウンスが! 外に出てみると、あたりは大変な状態です。急いで点呼するアゲハ先生ですが、 TENTウムシのホッシーがいません。ホッシーは高い建物の上で一人で震えていたのです。ホッシーを迎えに来たアゲハ先生はハッと気づきます。「ここは海のそば。地震のあとには津波! すぐ高い場所へ避難しないと! ホッシー君はそれを教えてくれたのね!」

津波警報が発令される中、みんなは昨日の防災訓練で学んだことを生かして、慌てず騒がず、高台へと避難することができました。幸いにも津波は来ず、やがて警報も解除されました。防災訓練はとても大切なのだということを、みんなが心に刻み込んだのでした。

プロデューサー 光田雅樹/川越英一
アニメーションプロデューサー 沼田かずみ
脚本 平柳益実
演出 岡田堅二郎
音楽 笠松美樹

制作協力 千葉エデュケーショナル株式会社
アニメーション制作 株式会社トマソン

企画・制作 東映株式会社 教育映像部